



= 読者プレゼント用招待券あり

招待券



リリース

= 当館ウェブサイト≫プレスの方へ≫「プレスリリース」よりダウンロード可

2016 年 12 月吉日
東京国立博物館 広報室

特別展情報

特別展「春日大社 千年の至宝」

2017 年 1 月 17 日（火）～3 月 12 日（日） 平成館 特別展示室

今なら見られる。行くしかない！

世界遺産のひとつである奈良・春日大社では「式年造替^{しきねんぞうたい}」と呼ばれる社殿の建て替えや修繕が約 20 年に一度行なわれ、平成 28 年（2016）には 60 回目を迎えました。本展はこの大きな節目に、春日大社に伝来し、社外ではめったに拝観することの出来ない貴重な古神宝の数々とともに、春日の神々への祈りが込められた選りすぐりの名品を展観します。春日大社の“至宝”が一堂に会する空前の規模の展覧会です。皆様お見逃し無く！

主催：東京国立博物館、春日大社、NHK、NHK プロモーション、読売新聞社

協賛：岡村印刷工業

報道関係お問合せ：特別展「春日大社 千年の至宝」展 広報事務局（共同 PR 内）

TEL：03-3575-9823 FAX:03-3574-0316 E-mail：kasuga2017pr@kyodo-pr.co.jp

鹿島立神影図

南北朝～室町時代・14～15 世紀

春日大社蔵

春日大社第一殿の祭神である武甕槌命（たけみかづちのみこと）が鹿に乗り春日の地に光臨した場面です



特別展「茶の湯」

2017 年 4 月 11 日（火）～6 月 4 日（日） 平成館 特別展示室

茶の湯の名品、ずらり。奇跡の大集結！

日本美術の象徴ともいえる茶の湯。本展では、おもに室町時代から近代まで、茶の湯の歴史を大規模に展観します。各時代を象徴する名品が勢揃いする本展ですが、なかでも茶碗の数々は圧巻！ 和物茶碗の最高峰と名高い、国宝「志野茶碗 銘 卯花塙^{うのはながき}」や天下一の高麗茶碗ともうたわれる国宝「大井戸茶碗 銘 喜左衛門^{きざゑもん}」、足利義政が愛した重要文化財「青磁輪花茶碗 銘 馬蝗絆^{ばこうはん}」など、名品揃いの奇跡の開催です。

茶の湯をテーマにした展覧会は、当館では昭和 55 年（1980）の「茶の美術」展以来、実に 37 年ぶり。この機会に、日本美術の粋をご覧ください。

主催：東京国立博物館、NHK、NHK プロモーション、毎日新聞社

協賛：日本写真印刷、三井物産

報道関係お問合せ：特別展「茶の湯」広報事務局（ミューズ・ピーアール内）

TEL：03-6804-5045 FAX:03-5785-2627 E-mail：info@musepr.co.jp



国宝 志野茶碗 銘 卯花塙

美濃 安土桃山時代・16～17 世紀

東京・三井記念美術館蔵

《お問い合わせ》

東京国立博物館 広報室 〒110-8712 東京都台東区上野公園 13-9

TEL: 03-3822-1302(広報直通) FAX: 03-3822-2081 E-mail: pr@tnm.jp URL: <http://www.tnm.jp/>

特集「^{かけふくさ}掛袱紗—祝う心を模様にかくす—」

※「21 世紀鷹峯フォーラム第 2 回 in 東京 工芸を体感する 100 日間」の連携展示です

■本館 14 室

12 月 20 日（火）～ 2017 年 2 月 19 日（日）

掛袱紗は、婚礼や長寿を祝う儀において、お祝いの品を贈る際にその上に掛ける覆いのことです。江戸時代前期から中期にかけて、日本の刺繍技術の発達とともに吉祥模様を刺繍したさまざまな袱紗が制作されました。江戸時代後期になると、世情で人気のある説話や、身近な風物を大胆に模様化したものも制作されるようになりました。江戸時代の人々の祝う心の表現に迫る、お正月にぴったりの特集です。



（部分）

袱紗 鶺鴒色縮緬地松梅鶯鶯模様
江戸時代・19 世紀 越谷市・松本家寄贈
東京国立博物館蔵



1 月の国宝室から

■本館 2 室 国宝室

国宝 松林図屏風

長谷川等伯筆 安土桃山時代・16 世紀

2017 年 1 月 2 日（月・休）～1 月 15 日（日）

白い和紙の上に墨の濃淡だけで風と光の情景が生み出された、等伯の代表作。新年にこそ見たい日本水墨画の名品です。

国宝 楼閣山水図屏風

池大雅筆 江戸時代・18 世紀

團伊能氏寄贈

2017 年 1 月 17 日（火）～2 月 12 日（日）

岳陽楼(右隻)と酔翁亭(左隻)をとりまく中国の有名な景勝地をモチーフにした作品。池大雅は、中国、清時代に描かれた画帖の作品をもとにこの作品を描きました。原図よりも建物や人物を大きく描き、群青や朱など鮮やかな色で服を彩って金地に輝く文人生活を映し出しています。



国宝 楼閣山水図屏風(左隻・部分)

池大雅筆 江戸時代・18 世紀

團伊能氏寄贈

東京国立博物館蔵

黒田記念館 特別室開室

2017 年 1 月 2 日（月・休）～1 月 15 日（日）

黒田記念館 特別室

黒田記念館の特別室では、黒田の代表作である「智・感・情」、「舞妓」、「湖畔」（以上、重要文化財）、「読書」の 4 件を、年 3 回（お正月、お花見、上野の山文化ゾーンフェスティバルの期間中）、2 週間ずつ公開しています。

作品に合わせた内装の特別室で、ゆったりとした時間をお過ごしください。



(右)重要文化財 舞妓

黒田清輝筆 明治 26 年(1893)

東京国立博物館蔵

(下)特別室の展示風景



新春企画「博物館に初もうで」を 2017 年 1 月 2 日(月・休)から 1 月 29 日(日)まで開催

詳しくは「博物館に初もうで」プレスリリースまたは当館ウェブサイト <http://www.tnm.jp/> をご覧ください。

講演会／イベントなど

講演会

●月例講演会「謎の青銅器、銅鐸」

江戸時代から研究されながらその実態が未だにつかめない銅鐸。この謎の青銅器をさまざまな角度から捉え、少しでもその実態に迫りたいと思います。

日時：2017年1月21日(土) 13:30～15:00 ＊開場は開始の30分前を予定

講師：井上洋一（学芸企画部長）

定員：380名（先着順） 聴講無料（ただし、当日の入館料が必要）

会場：平成館大講堂

※ 以上の詳細は、当館ウェブサイト <http://www.tnm.jp/>≫催し物≫講演会・講座をご覧ください

ワークショップ・ツアー

バックヤードツアー

●「保存と修理の現場へ行こう」 **事前申込制**

文化財の保存と修理についての解説およびバックヤードツアーを行います。ツアーでは関連展示や修理室、さらに大型CTスキャナー、X線による分析機器をご案内します。

日時：2017年3月23日(木) 13:30～16:30

定員：60名（応募者多数の場合は抽選）

参加費：無料（ただし、高校生を除く18歳以上70歳未満の方は当日の入館料が必要）

申込締切：2017年1月31日(火) 必着

※ 申込方法の詳細は、当館ウェブサイト <http://www.tnm.jp/>≫催し物≫イベントをご覧ください

こどもたちのアートスタジオ

●「勾玉作り」 **事前申込制**

平成館考古展示室の勾玉を見学した後に、滑石を加工してオリジナルの勾玉を制作します。完成作品はお持ち帰りいただけます。

日時：2017年2月5日(日) 13:30～15:30

会場：本館地下 みどりのライオン（教育普及スペース）

対象：小学3年生～中学生（保護者の見学可能）

定員：20名程度（応募者多数の場合は抽選）

参加費：無料（ただし、高校生を除く18歳以上70歳未満の方は当日の入館料が必要）

申込締切：2017年1月9日(月・祝) 必着

※ 申込方法の詳細は、当館ウェブサイト <http://www.tnm.jp/>≫催し物≫ワークショップをご覧ください

お知らせ

◆特別展「平安の秘仏—滋賀・櫛野寺の大観音とみほとけたち」会期延長

本展について、2016年9月13日(火)～12月11日(日)までの会期を予定していましたが、会期延長が決定しました。

変更後の会期：2016年9月13日(火)～2017年1月9日(月・祝)

会場：本館特別5室

開館時間：午前9時30分～午後5時、金曜は午後8時まで

休館日：月曜日、年末年始（2016年12月24日<土>～2017年1月1日<日・祝>）

※ただし、2017年1月2日(月・休)・9日(月・祝)は開館

お問合せ：03-5777-8600（ハローダイヤル）

展覧会公式サイト：<http://hibutsu2016.com/>

※12月13日(火)以降、当日券は東京国立博物館正門チケット売場でのみ、ご購入いただけます。お買い求め済みの前売券、無料観覧券などにつきましては、2017年1月9日(月・祝)までお使いいただけます。

◆閉室・休館情報

下記の展示館を一時閉室・休館しています。

本館 2 階：12 月 16 日（金）～2017 年 1 月 1 日（日・祝）[展示環境改善のため]

※展示環境改善スケジュール変更のため、12 月 12 日(月)からの閉室予定が 12 月 16 日(金)からとなりました

表慶館：当面の間（特別展・イベント開催時を除く）[展示環境整備のため]

◆年末年始の休館

12 月 24 日（土）～2017 年 1 月 1 日（日・祝）

最新情報はメールマガジンで。

展示替え等の最新情報をタイムリーにお届けします。登録は、当館ウェブサイト(<http://www.tnm.jp/>)、トップページ右下にある「メールマガジン」をご覧ください。

プレスリリースをダウンロードできます。

特別展などのプレスリリースをウェブ上で公開しています。当館ウェブサイト、トップページ右下にある「プレスの方へ」をご覧ください。